

授業の実際「大町型授業の流れ」

※ 毎時間、本時で**キャリア教育におけるめざす児童生徒の姿を明確にして、**
授業を展開する。

過程	学 習 内 容	留 意 点
つかむ	1 <u>これまでの学習の復習をする。</u> 2 <u>めあての確認をする。</u> (めあての提示)	○これまでの学習を確認させる。(学習の流れの提示、練習問題、インパクトのある資料や話など) ○課題解決への意欲づけをする。 ○本時の学習を明確にする。 <めあて設定のポイント> ①焦点化②分かりやすく③板書で示す ○めあてを書かせる。
見通す	3 <u>見通しをもつ。</u>	○これまでの学習経験をもとに解決の見通しをもたせる。 ① 解決のための見通し (・結果の見通し ・解決方法の見通し) ② 活動の見通し (・時間の見通し ・活動場所の見通し 等) ○見通しがもてるように板書の工夫や図式化をする。
調べる・深める	4 <u>解決する。</u> ☆共に学び合う活動(やまびこタイム) ※ 言語活動 ※ 主体的・対話的で深い学び 5 <u>学び合う活動の結果をまとめ、発表する。</u>	○見通しにそって課題解決をさせる。 ○解決がうまく進まない児童生徒に手立てをとる。(ヒントカード、具体物操作、個に応じたワークシートなど) ○一人ひとりの活動や発言の場をつくり、自分の考えを広めたり、深めたりさせる。また、自分の考えに自信をもたせる。 ○話す側と聞く側の話型やきまりを示して、よりよい話し合いにする。 ○学び合う活動で話し合った解決方法や結果などを発表させる。 ○児童生徒の思考をゆさぶるような発問の工夫や学習の流れがとらえやすい板書をする。
まとめる	6 <u>学習したことをまとめ、振り返る。</u> 7 <u>次時の学習について知る。</u>	○本時の学習についてポイントを絞ってまとめる。 ○学習したことを自分のことばで表現させる。 ○めあてに対する自己評価をさせる。 ○練習問題で習熟を図る。 ○次時の学習内容について知らせる。